

平成 30 年度
東京藝術大学 大学院映像研究科 アニメーション専攻
第 2 次試験 筆記試験 専門試験
平成 30 年 2 月 19 日（月）14:00～17:00（試験時間 180 分）

【問題用紙】

注意事項

- ・ 解答時間は午後 14 時 00 分から午後 17 時 00 分の 180 分です。
- ・ 解答用紙が足りない場合には、手を上げて監督官を呼んで下さい。
- ・ 特別な指定のない限り解答は日本語で書きなさい。
- ・ 試験開始から 60 分経過後から、解答が終わった人は時間終了前に退席可能です。退席したい場合は手を挙げて試験官を呼んで下さい。
- ・ 配布物は全て回収しますので、持ち帰らないこと。
- ・ 画材は単色、一種類の画材を使用して描くこと。

第1問

以下の松尾芭蕉の俳句は、床の間の掛け軸の横に掛かっているカゴの中に虫のきりぎりすがいる情景をうたった句だと言われています。この句をもとに1分程度のアニメーションを構想し、絵コンテを描きなさい。作品中に音声または文字で、俳句の全文をどこかに必ず入れること。俳句の解釈は自由で、その是非は問いません。

静しず
かさや
絵掛えか
かる壁かべ
の
きりぎりす

第2問

解答用紙の左下の人物が、右上の場所まで移動するアニメーションを考え、そのキーフレームを描きなさい。

注意点：

- ・左下と右上の人物の足が接地している線をつなぎ、人物が移動する地形を設定すること。
- ・人物は地球の重力の影響を受ける人間である。
- ・人物は人間以外に変形しない。大きさも巨大化などの変化はしない。
- ・キーフレームは最低 10 ポーズ以上、20 ポーズ以内描くこと。
- ・鉛筆などのシンプルな線で描くこと。

